

令和3年度 事業報告

○第3期金沢区地域福祉保健計画の推進 及び 第4期金沢区地域福祉保健計画の策定

【重点項目1】

1 区役所、地域ケアプラザと連携した計画推進・策定

(1) 区域計画の推進・策定

新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期となった、第4期金沢区地域福祉保健計画「金沢ささえあいプラン」を区役所、地域ケアプラザをはじめとした関係機関と連携し策定しました。

- 事務局として第4期策定に向けた打ち合わせ等の参加
- 区地域福祉保健計画推進プロジェクト作業部会(4月、2月)
- 区地域福祉保健計画推進プロジェクト(4月、6月、10月)
- 区地域福祉保健計画推進委員会(7月、11月)
- 区地域福祉保健推進会議(8月、12月)
- 地域福祉保健計画・区域研修への参加・協力
 - ・地域支援チーム新任研修(5月:全2回)
 - ・地域支援チーム研修への参画(地域力向上研修)
- 地域支援チームリーダー会議への参加・協力(毎月)
- 5者(福祉保健課、地域振興課、高齢・障害支援課、生活支援課、区社協)連絡会への参加(毎月)



(2) 地区別計画の推進・策定支援

区内 14 地区の地区別計画を地域が主体的に推進できるよう支援するとともに、目標に対する取組支援、新たな課題に対する計画への位置づけ等、地域支援チームの一員として、地区別計画の策定をサポートしました。

- 地区推進連絡会への参加(各地区年1～2回程度)
- 地域支援チーム会議の参加(随時)
- 地区別計画の振り返り等へ地域支援チームでの参加(随時)

(3) 中学生用ワークシートの作成

「金沢ささえあいプラン」が中学校「技術・家庭科」の新学習指導要領の学習目標に合致することから、区、地域ケアプラザ、中学校と協力して補助教材用ワークシート・教師用ガイドラインを作成しました。

(4) 専門職として区域・地域を分析することによる課題の明確化

地域支援チームで連携し、アセスメントシート(区社協とりまとめ)を用いて地域課題を分析する(地域アセスメント)とともに、それぞれの視点で把握している課題等について情報交換をすることで、課題の発見・共有に努めました。

○重点テーマⅠ 身近な知りあいを増やし安心の輪を拡大

推進目標1-(1)

多世代が知りあう場づくり

1 情報の周知

(1) 最新で役立つ福祉情報の提供

① ホームページを活用した情報提供

ホームページを活用し、各種事業内容の紹介、各種事業のイベントや講座情報、通信等を掲載しました。また、情報の更新を随時行い、区内地域福祉情報の積極的な提供に向け、掲載内容の充実を図りました。

○URL: <http://www.kanazawa-shakyo.jp/>

○アクセス数: 37,950 回 ○更新数: 30 回

② SNS を活用した情報発信【新規】

LINE 公式アカウントを作成し、区社協の広報紙や各種事業内容の紹介等を行いました。

③ 金沢区社協リーフレットの見直し【新規】

社協とかかわる組織や団体等に対し、社協について紹介し、理解を得ることを目的に、より使いやすく、より見やすいリーフレットを目指し、全面的に内容を更新しました。



④ 「福祉かなざわ」、「かなざわボランティアセンター通信」の発行

区民参加の編集委員会を開催し、区社協広報紙「福祉かなざわ」を発行しました。

また、ボランティアセンターの周知・広報活動として「かなざわボランティアセンター通信」を発行し、定期的に情報発信を行いました。

○「福祉かなざわ」の発行(年3回): 音声訳版も同時発行

号数	時期・部数 配布方法	特集記事の内容
116号 (4頁)	8月 8,700部 町内回覧等	1-3頁: コロナ禍の地域のつながり 4頁 : 金沢区移動情報センター ガイドボランティア募集中!
117号 (4頁)	12月 8,700部 町内回覧等	1-3頁: ある日、ある時 地域ケアプラザに・・・ 4頁 : 金沢区移動情報センター ガイドボランティア募集中!
118号 (タウンニュース版 第4面)	3月 78,500部 新聞折込等	金沢ささえあいプラン ※応募(クイズ)実施



○「かなざわボランティアセンター通信」の発行(年1回)

号数	時期・部数・配布先	特集記事の内容
第13号	2月 1,500部 登録ボランティア、登録団体へ配布	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度のボランティアセンターの活動状況について 令和3年度登録者向け研修のご案内



(2)「金沢ふれあい助成金・障がい作業所等助成金」による活動支援【拡充】

区内のボランティア活動、非営利な地域福祉・障がい福祉を推進する団体の事業支援を目的に活動費を助成しました。

○令和3年度助成金配分

[詳細は32頁【金沢ふれあい助成金・障がい作業所等助成金】参照]

・通常区分

申請:99件/助成決定:99件

総額:10,643,000円

・新規立ち上げ事業区分

申請:2件/助成決定2件

総額:80,000円

○令和3年度助成金説明会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず。申請に関する相談は個別で対応しました。



(3) 善意銀行の活用につながる情報提供【拡充】

【重点項目7】

区民からの善意(金品の寄附)をもとに、区内の福祉活動へ配分する善意銀行について、寄附の拡大とともに適切な配分につなげるため、区社協広報紙「福祉かなざわ」に掲載する等情報提供を行いました。

(4) 各種助成金情報の提供

横浜市、金沢区の助成制度の他、各種民間助成事業等、活用できる助成金について情報提供を行いました。

- 民間団体が実施する助成金情報のファイルを窓口に設置。
- 区役所と「金沢区内市民活動に関する補助金制度一覧」を作成し、地域へ周知。

2 身近な地域で参加できる交流の機会と場づくり

【重点項目1】

身近な地域で必要とされる居場所として男性を対象とした連続講座の実施やサロン立ち上げの相談等、地域特性に合わせた社会資源への支援を地域ケアプラザと協働して進めました。

- 男性アコレ講座(泥亀地域ケアプラザ共催) 全9回 延べ 112 名参加
本年度も活動も制限された中での事業実施となりました。
- 地域の新規立ち上げの相談対応(随時)

3 地域の人材や資源の共有

(1) 部会・分科会の活性化

会員組織のメリットを活かし、第3期金沢区地域福祉保健計画の推進に協働して取り組み、様々な福祉課題の検討と課題解決につなげる場として開催しました。

○A区分(地域福祉関係団体)部会

回	日程	主な内容
1	5月 【書面】	一斉改選に伴う次期正副部会長、理事・評議員、各種委員会委員候補者の推薦について

<ボランティア・市民活動団体分科会>

回	日程	開催場所	参加	主な内容
1	5/13	いきいきセンター金沢 2階 会議室	11 団体	令和3年度金沢区社会福祉協議会 事業計画について 令和3年度分科会の取組について 等
2	7/8	いきいきセンター金沢 2階 会議室	10 団体	研修会「リモート会議の開催方法①」 研修会の振り返りについて 等
3	9/9 (12/6 へ 延期)	いきいきセンター金沢 2階 会議室	8 団体	研修会「リモート会議の開催方法②」 研修会の振り返りについて 等
4	11/11	特別養護老人ホーム わかくさ	7 団体	視察研修会 1月定例会のグループ討議(意見交換)について 等
5	1/13	いきいきセンター金沢 2階 会議室	8 団体	特別養護老人ホームわかくさ視察報告 意見交換「ボランティア団体として、災害時に備えてできること・災害時にできること」 次年度の分科会の取組について 等
6	【書面開催】(3月) 令和4年度ボランティア・市民活動団体分科会の取組について 等			

・研修会

回	日程	場所	参加	主な内容
1	7/8	いきいきセンター金沢 2階 会議室	10 団体	研修会:「リモート会議の開催方法①」 ～ZOOM 基礎編～ 講師:京セラ株式会社 社員
2	12/6 (9/9 より 延期)	いきいきセンター金沢 2階 会議室	8 団体	研修会:「リモート会議の開催方法②」 ～ZOOM 応用編～ 講師:京セラ株式会社 社員



・視察研修会

日程	参加	主な内容・見学先
11/11	7 団体	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 神奈川県済生会 特別養護老人ホーム わかくさ 施設見学、施設概要説明、質疑応答 等



< 地区社会福祉協議会分科会(会長・事務局長合同会議) >

昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響により延期とした「地域福祉保健計画」をテーマにした講演会を集合型とオンライン及びオンデマンド配信にて実施しました。

日程	場所	参加	主な内容
4/16	いきいきセンター金沢 2階 多目的研修室・ホ ール	32 名	【第一部】 ・任期満了に伴う次期評議員及び理事の推薦について 等
			【第二部】 講義:「地域福祉保健計画及び地区別計画の理解を深める」 講師:愛知東邦大学教授 西尾 敦史 氏

○B区分(当事者団体)部会

回	日程	主な内容
1	9月 【書面】	金沢文庫駅西口の利便性向上に関する要望書について 第4期金沢区地域福祉保健計画(素案)について 等
2	12/1	意見交換「現在の各団体の困りごと、コロナ禍だからこそ気付いた点」 金沢文庫駅西口の利便性向上に関する要望書について 今後の部会について 等
3	3月 【書面】	金沢文庫駅西口の利便性向上に関する要望書について 令和4年度部会の取組について 部会員間のメール・LINEの活用について 等

○C区分(専門機関)部会

回	日程	主な内容
1	5月 【書面】	任期満了に伴う本会理事・評議員各候補者の推薦について

(2)金沢ふれあい助成金交付団体をはじめとした区内の社会資源の共有

助成金交付団体、福祉保健活動拠点、地域ケアプラザ等で把握した社会資源を関係機関で共有することで、必要な社会資源の整理を行いました。

(3)福祉保健活動拠点運営と利用団体の交流の場づくり

区内に唯一の福祉保健活動拠点として会議室、研修室、団体交流室のほか、視覚障がい者向けの対面朗読室や点字製作室などの機能を活かすとともに、利用調整会議などの開催を通じ、登録団体の意見を反映した運営と利用団体の交流の場づくりに努めました。利用調整会議は書面開催でも団体間の交流が図れるよう、「コロナ禍で活動するにあたり工夫していること」というアンケートを実施し、団体からの回答をまとめた資料を送付しました。

また、利用団体に窓口満足度調査を実施し、拠点利用の利便性向上に努めました。

○利用登録団体数：133 団体(令和4年3月末現在)

○利用件数：延べ2,132 件

○拠点相談受付件数：計1,809 件

(拠点利用関係：1,523 件／ボランティア関係：286 件)

○【書面開催】利用調整会議(泥亀地域ケアプラザと合同)

回	日程	主な内容
1	8月	連絡事項について 登録団体活動内容のご確認 等
2	2月	連絡事項について 令和3年度ロッカー・ボランティアコーナー倉庫・メールボックス抽選会の件 等

○【書面開催】令和3年度ロッカー・メールボックス抽選会：3月実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催。

団体からの抽選用紙の提出を受け、職員による代理抽選を行う。

○【書面開催】貸室抽選会：毎月初日実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催。

団体からの抽選用紙の提出を受け、職員による代理抽選を行う。

○いきいきセンター金沢連絡会：毎月参加

推進目標1-(2)

日常生活の中で多様な見守りや助けあいを推進する仕組みづくり

1 福祉教育の充実

(1)福祉教育の実施

学校・企業・地域等からの福祉教育に関する相談に応じ、福祉教育実施の支援を行いました。

○学校からの相談対応:7校

<小学校:4校>

日程	学校名	学年	主な内容
10/15、 10/22、 11/19	並木第一小学校	4年生	障がい理解(聴覚) ・手話サークル「すまいる」 ・並木地域ケアプラザ
11/15	六浦小学校	4年生	障がい理解(視覚) ・View-net 神奈川 三嶋 伸昭氏
12/9	小田小学校	3～5 年生	障がい理解(身体) ・金沢区社会福祉協議会 職員
12/17	西金沢学園	6～9 年生	障がい理解(視覚) ・View-net 神奈川 三嶋 伸昭氏



<中学校:1校>

日程	学校名	学年	主な内容
11/26	並木中学校	1年生	パラスポーツ体験(ボッチャ・シッティングバレー・ゴールボール) ・金沢スポーツセンター

<高等学校:2校>

日程	学校名	学年	主な内容
12/15	金沢総合高等学校	2・3年生	いきいきセンター金沢見学 ・金沢区社会福祉協議会 ・泥亀地域ケアプラザ ・老人福祉センター 晴嵐かなざわ ・泥亀福祉機器支援センター

3/14	金沢高校	2年生	地域理解(六浦地区について) ・金沢区社会福祉協議会 職員 ・六浦地区社会福祉協議会 富川 清会長
------	------	-----	---

(2)福祉教育支援事業助成金による学校支援

○福祉教育支援事業助成金の交付

福祉教育に取り組む小学校、中学校を対象に事業費の助成を行いました。

・小学校:3校 ・中学校:1校

(3)支援が必要な人への理解

①障がい児・者のためのガイドボランティア講座

障がい等により、一人で外出することが困難な方の外出の機会を増やすため、ガイドボランティア養成講座を開催しました。

○車椅子操作講座～安心・安全な介助方法を学ぼう～(共催:泥亀地域ケアプラザ)

日程	場所	参加	主な内容
12/20	いきいきセンター金沢	27名	・車椅子の基本的な操作講座、当事者代表のお話し
1/17	2階 多目的研修室・ホール	24名	・施設外を車椅子で走行 ・ガイドボランティア制度の説明 等

②移動情報センター ガイドボランティア交流会

活動をする中での疑問や不安、ボランティア同士の情報交換の場として交流会を企画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため本年度も中止となりました。

③知的障害者ガイドヘルパー養成研修の開催(共催:すみなす会 ケアステーション心海)

移動支援のニーズが高まっている一方で、ガイドヘルパーの人材は不足しており、一人でも多くの方にガイドヘルパーを知っていただき、障がい者の自立と社会参加を促進するため、知的障害者ガイドヘルパー養成研修を毎年開催していましたが、本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

④認知症理解活動の支援

認知症になっても住み慣れた地域で暮らすことができるよう、認知症についての理解を広げるため、区内2大学の学生実行委員会が中心となって実施する認知症啓発ランニングイベント「RUN 伴+三浦半島」ですが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で学生実行委員及びケアプラザ等での参加希望1名ずつでコースをつなぐ取組みを後方支援しました。次年度も開催に向け、引き続き地域ケアプラザと連携をし、支援をしていきます。

また、認知症啓発用DVD(事例DVD及び児童向けDVD)を引き続き貸し出しました。各地域での活用に向け、周知を継続していきます。

(4)福祉機材の貸出

	機材名	貸出数		機材名	貸出数
1	車いす	54	4	高齢者疑似体験セット	12
2	白杖	7	5	啓発DVD	11
3	アイマスク	15	6	点字器	6

2 見守りの輪を拡大

(1) 身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業の推進

【重点項目2】

日常生活圏域における拠点である地域ケアプラザ、民生委員・児童委員等の地域活動者や住民の方々と連携して、制度の狭間や社会的に孤立している人のニーズを捉え、個別の生活課題の解決を通じて、専門職と地域住民が一体となった身近な地域での支えあい活動を展開しました。

① 助け合い団体のネットワーク化

地区内の助け合い団体の連絡会に参加し、より日常生活圏域に近いエリアでの助け合い団体のネットワーク化に協力しました。

また、区内で助け合い活動を行っている団体が、情報交換や意見交換を通して顔の見える関係づくりと活動へのヒントを得ることを目的に連絡会の開催を予定していましたが、コロナ感染症拡大に伴い、次年度へ延期となりました。

② 子どもの居場所づくり支援

地域における身近な居場所づくりを推進するため、子ども食堂等の立上げや運営・活動継続にかかる相談に随時対応しました。また、日頃から子ども食堂・地域食堂や関係機関と情報共有を行うとともに、団体と関係機関が一堂に会する「子ども食堂・地域食堂連絡会」を開催したことにより、区内「子ども食堂・地域食堂」実施団体同士そして関係機関との連携を強められるよう、さらなるネットワーク構築に努めました。

○金沢区子ども食堂・地域食堂連絡会の開催

日程	場所	参加	主な内容
7/9	いきいきセンター金沢 2階 多目的研修室・ホール	24名	【第1部】 ・連絡会リーフレットのお披露目 ・活動状況共有、意見交換 【第2部】 ・食品衛生講習会 (区役所生活衛生課)

※3月17日実施予定の連絡会はまん延防止等重点措置の延長に伴い次年度に延期



※リーフレットは、区内小中学校や地域ケアプラザ等の区内施設へ配架をするとともに、区連会や区民児協定例会、主任児童委員連絡会等の地域の会議を通して周知を行いました。

③ 民生委員児童委員協議会等との連携による個別課題の把握

地域の福祉・生活課題を把握している民生委員・児童委員等との連携により個別課題の把握に努め、課題解決に向けた取組みを進めました。

○地区民生委員児童委員協議会定例会への出席

○地区民生委員児童委員協議会対象の地区社協研修

(金沢シーサイドタウン地区:5/21)

④お助け隊なみきの継続支援

地域ケアプラザと連携して、立ち上げ支援を行った金沢シーサイドタウン地区で助け合いボランティアグループ「お助け隊なみき」の運営に対して継続的に支援を行いました。

- 定例会への参加を通じたコーディネーターの支援（毎月第4月曜日：6回参加）
- ボランティア交流会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

(2)生活支援体制整備事業の推進

【重点項目4】

①生活支援体制整備事業推進体制の構築

生活支援体制整備事業の更なる推進を目指して、区役所、地域ケアプラザと連携し、生活支援コーディネーター連絡会を月1回開催しました。今年度はテーマ別検討を行うために3班(Ayamu、チョコボラ連絡会、研修・チラシ)に分かれ、検討を進めました。

○生活支援コーディネーター連絡会の開催(毎月第4水曜開催)

回	日程	場所	参加	主な内容
1	4/28	いきいきセンター金沢 2階 会議室	18名	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援整備事業推進会議の報告 ・生活支援整備事業の振り返り及び次年度の目標について ・情報交換・意見交換
2	5/26		14名	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援整備事業推進会議の報告 ・区アクションプランの作成について ・Ayamuのweb公開に向けて ・区ケアマネクラブとの連携について ・情報交換・意見交換
3	6/23		15名	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援整備事業推進会議の報告 ・区アクションプランの作成について ・区民活動団体向けICT活用講座について ・テーマ別検討の内容共有 ・情報交換・意見交換
4	7/28		15名	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援整備事業推進会議の報告 ・区アクションプランの概要版について ・区ケアマネクラブとの連携について ・友愛活動員研修について ・テーマ別検討の内容共有 ・情報交換・意見交換
5	8/25		13名	<ul style="list-style-type: none"> ・区民活動団体向けICT活用講座について ・テーマ別検討の内容共有 ・情報交換・意見交換
6	9/22		15名	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援整備事業推進会議の報告 ・区アクションプランの概要版について ・区民活動団体向けICT活用講座について ・テーマ別検討の内容共有 ・情報交換・意見交換
7	10/27		15名	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援整備事業推進会議の報告 ・区アクションプランの概要版について ・区民活動団体向けICT活用講座について ・テーマ別検討の内容共有 ・情報交換・意見交換

8	11/24	いきいきセンター金沢 2階 会議室	16名	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援整備事業推進会議の報告 区アクションプランの概要版について テーマ別検討の内容共有 情報交換・意見交換
9	12/22		19名	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援整備事業推進会議の報告 区アクションプランの概要版について テーマ別検討の内容共有 情報交換・意見交換
10	1/26		15名	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 生活支援C0連絡会について テーマ別検討の内容共有 情報交換・意見交換
11	2/16		17名	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援整備事業推進会議の報告 ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビの公開周知について チョボラ連絡会について 令和3年度 生活支援体制整備事業の振り返りについて テーマ別検討の内容共有 情報交換・意見交換
12	3/22		17名	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援整備事業推進会議の報告 ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビの公開状況について 区アクションプランについて 令和3年度 生活支援体制整備事業の振り返りについて テーマ別検討の内容共有 情報交換 意見交換「コロナ禍での地域とのコンタクト方法」

○生活支援コーディネーター連絡会主催研修会の開催

回	日程	場所	参加	主な内容
1	2/14	いきいきセンター金沢 2階 会議室	33名	テーマ：住民ささえあいマップについて 講師：住民流福祉総合研究所 木原 孝久氏

※地域ケアプラザの5職種を対象とし実施

○地域ケアプラザ所長会への参加（11回）

○5者連絡会への参加（12回）（再掲）

②既存の支援ニーズ・社会資源情報の活用

○移動販売

区内の住民ニーズに応じて立ち上げを行った(株)セブン-イレブン・ジャパンとの移動販売について、地域ケアプラザと連携し、継続支援を行いました。R3.11 から沢木谷公園拠点が追加となっています。

また、今年度より、野島地区においてユニオンセンターによる移動販売が開始、区役所、地域ケアプラザと連携し支援を行いました。

移動販売は単なる生活支援の取組に留まらず、交流の場や見守りの場にもなっています。

《ユニオンセンター ユニクマ号》

- 毎週木曜日 ①乙舳町内会館敷地内 10:00～10:20
 ②野島公園管理事務所 10:30～10:50
 ③野島町内会館敷地内 11:00～11:50



《移動販売に関する会議など》

- ・乙舳町内会・ユニオンセンターとの打ち合わせ(5/12 出席者9名)
- ・金沢文庫パークタウン自治会との打ち合わせ(5/17 出席者8名)
- ・ユニオンセンターとの打ち合わせ(6/10 出席者4名)
- ・西金沢地域ケアプラザエリア移動販売についてセブン-イレブンの打ち合わせ(8/5 出席者8名)
- ・区移動販売に関する意見交換会(8/25 出席者6名)
- ・ユニオンセンターとの打ち合わせ(9/22 出席者5名)
- ・ 〃 (10/21 出席者5名)
- ・西金沢地域ケアプラザエリア移動販売についてセブン-イレブンの打ち合わせ(11/19 出席者9名)
- ・野島地区・ユニオンセンターとの打ち合わせ(12/6 出席者 14 名)
- ・ユニオンセンターとの打ち合わせ(1/4 出席者6名)
- ・ユニオンセンターとの打ち合わせ(3/22 出席者9名)

○ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビの公開

地域ケアプラザ等が集めた地域活動の情報を“見える化”したデータシステム「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」を金沢区では令和4年3月14日より順次公開しました。

サロン・趣味活動・生活支援等をお探しの方や、地域の担い手として活躍したいと考えている方など、幅広い方にご利用いただけます。

また、次年度以降、自費サービスを実施する事業所に検索ナビへの掲載依頼も兼ねて訪問するために、体制整備事業の紹介と顔の見える関係づくりを目的としたリーフレットの作成も行いました。

横浜市 HP



③関連会議

- ・地域ケア会議への参加
- ・区包括連絡会への参加
- ・その他地域ケアプラザ関係会議への参加

(3)地域活動交流コーディネーター支援

地域ケアプラザと一体的に地域支援をすすめていくことを目的として、区内9か所の地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーターが参加する連絡会を月1回開催しました。

また、令和3年度は前年度につづき、新型コロナウイルス感染症の影響により、サブコーディネーターも含めた研修会を中止とし、コーディネーターのみの内部研修を実施しました。

○地域活動・交流コーディネーター連絡会の開催(毎月第1水曜日開催)

回	日程	場所	参加	主な内容
1	4/7	いきいきセンター金沢 2階 会議室	14名	1 区役所(関係機関からの連絡事項) 2 区社協からの連絡事項 3 各委員会・部会等からの連絡 4 情報交換 ①各地域ケアプラザの状況について ②意見交換
2	5/12		13名	
3	6/2		12名	
4	7/7		15名	
5	8/4		11名	
6	9/1		※	
7	10/6		12名	
8	11/10		13名	
9	12/1		10名	
10	1/5		13名	
11	2/2		12名	
12	3/2		14名	

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催

○コーディネーター研修会の開催

回	日程	場所	参加	主な内容
1	11/10	いきいきセンター金沢2階会議室	11名 —	Zoom 研修

※新型コロナウイルス感染症の影響により、サブコーディネーターを含めた研修は中止としました。

(4)地区社会福祉協議会への支援

【重点項目F】

地区社協活動の支援として「地区社協助成金」配分事業を実施しました。また、地区社協事務局長会議の定例開催や役員向け研修等を通じて、一人ひとりの困りごとを解決できる地区社協を目指して着実に推進できるよう支援を行いました。

会長・事務局長合同会議として昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響により延期とした「地域福祉保健計画」をテーマにした講演会を集合型とオンライン及びオンデマンド配信にて

実施しました(再掲)

○地区社協事務局長会議の開催

回	日程	場所	参加	主な内容
1	4/16	いきいきセンター金沢 2階 多目的研修室・ホール	13 地区	1 区役所(関係機関からの連絡事項) 2 区社協からの連絡事項 3 情報交換 ①各地区の活動状況について ②意見交換
2	5/21		12 地区	
3	6/18	いきいきセンター金沢 2階 会議室	13 地区	
4	7/16		13 地区	
5	9/17	いきいきセンター金沢 2階 多目的研修室・ホール	13 地区	
6	10/15		12 地区	
7	11/19		14 地区	
8	1/21 【書面実施】	/	/	
9	2/18 【書面実施】			
10	3/18 【書面実施】 3/27			

○地区社協助成金の交付(6月)

総額:2,715,000 円(13 地区)

○地区社協活動運営費の交付(7月)

総額:650,000 円(@50,000×13 地区)

○地区担当制による活動支援

地区との連携を図るため、地区担当制を設け、各地区の事業や会議に参加しました。

○地区アセスメントシート及び地区社協状況書の作成

地区別アセスメントシート・地区社協状況書を作成、地域支援のために活用しました。

○地区社協向け SNS 活用支援

昨年度実施した SNS 研修をきっかけに、地区社協で SNS の活用に向け検討が行われました。検討会へ参加するなど、広報支援を行いました。

《各地区への支援》

- ・【金沢シーサイドタウン地区】 SNS 活用検討会の参加 (2 回:5/25・12/17)
- ・【金沢東部地区】住民ニーズ調査・シンボルマークの作成(横浜市ハマボノ・ハマボノ mini の活用)

(5)区ボランティアセンターの機能充実

①ボランティアに関する相談・コーディネート・情報提供等の充実

ボランティアに関する相談を受け、手助けして欲しい人とボランティアを適切につなげ、正確に必要な情報提供が行えるようボランティアコーディネーターの相談援助機能の向上

に努めました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、依然としてボランティア依頼・紹介件数は減少傾向にあります。

(前年比)

○ボランティア依頼件数:72件(▲19件)

単発依頼:48件、継続依頼:24件

○ボランティア紹介件数:54件(▲23件)

単発依頼:39件、継続依頼:15件

○ボランティア登録数

新規 個人:31名(+15名)/グループ:2団体(+2団体)

累計 個人:503名(+3名)/グループ:54団体(+2団体)

○コーディネーターミーティングの開催(毎月1回)

②必要とされているボランティア活動の開発・組織化

各種相談事業や地域から寄せられる情報から必要とされているボランティア活動を見極め、地域ケアプラザ等と連携しながら組織化を前提とした活動の開発を行いました。

○ボランティアミニ講座

回	日程	場所	参加	主な内容
1	5/10	いきいきセンター金沢 2階 対面朗読室、 団体交流室 I	2名	・ボランティア活動の基礎知識 ・社会福祉協議会の概要 ・車椅子の操作等
2	11/18		1名	
3	1/11		2名	
4	3/10		1名	

○晴嵐かなざわ趣味の教室においてボランティア活動のお話

ボランティアセンターへの新規登録者の開拓や、作成した小物の寄附につながった。

(9/15:手持ちの布で小物づくり、9/16:はじめての英会話、9/21:ゼロからはじめる将棋教室、9/24:季節をいろどる折り紙、9/28:和みのヨーガ・和紙ちぎり絵、9/29:リンパを流すストレッチ)

○ボランティアセンター登録者向け研修会

令和3年度はまん延防止等重点措置の延長に伴い、開催を見合わせました。

③ボランティア・市民活動団体分科会と連携したボランティアニーズへの対応

区内 27 団体で構成する分科会の機能を活かし、これまでの個人登録ボランティア中心のコーディネート枠を拡大し、ニーズへの対応力向上を図りました。

④善意銀行の運営【拡充】

区民や企業等からの善意(金品や物品の寄附)をもとに、区内の福祉活動へ適切に配分しました。〔詳細は 31 頁【善意銀行】参照〕

(6)地域における権利擁護の推進

【重点項目5】

①金沢区社協あんしんセンターの運営

金銭管理に不安がある高齢者や障がい者を対象に定期訪問、金銭管理サービス等を提供し、安心した生活が送れるよう支援しました。

○初回相談:45件

○継続相談:延べ 1,247 件

○契約者数(令和4年3月末現在)

・定期訪問・金銭管理サービス:45名(新規契約者6名/契約終了者8名)

- ・財産等預かりサービス:13名(新規契約者2名/契約終了者1名)
- ケースカンファレンスの開催:毎月(モニタリング等)
- 権利擁護に関する啓発活動
- ・地域包括支援センター連絡会主催「新任ケアマネジャー研修」での事業説明(11月)

②市民後見人養成・活動支援事業の協力

関係機関と連携しながら、第5期横浜市市民後見人養成課程にかかる実務実習や修了後の地域活動を支援しました。

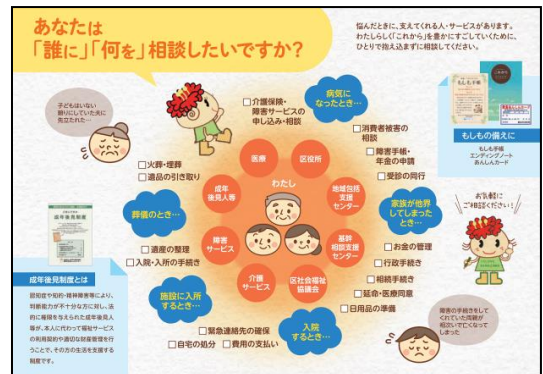
- 市民後見サポートネットの開催(11月)
- 横浜市市民後見人対応

③成年後見サポートネットの共同運営

区役所や地域包括支援センター、市社協との共同事務局として市民後見人の活動支援や権利擁護に関する啓発活動を推進しました。

- 区成年後見サポートネット事務局会議の開催 計10回
(区役所高齢・障害支援課、地域包括支援センター連絡会社会福祉士部会、区社協)
- 金沢区版成年後見制度啓発リーフレット「あなたの相談したい人は誰ですか?」の作成

相談機関の一覧	名称	電話番号	FAX
高齢者の生活支援	金沢区高齢者センター	788-7777	788-8872
	金沢区高齢者センター	788-8766	788-9011
	金沢区高齢者センター	778-0307	778-9872
	金沢区高齢者センター	778-0302	778-9872
	金沢区高齢者センター	771-2301	771-2302
	金沢区高齢者センター	780-0991	780-0992
	金沢区高齢者センター	782-2943	782-2953
	金沢区高齢者センター	780-5221	780-5227
	金沢区高齢者センター	786-4801	786-5852
	金沢区高齢者センター	786-2001	786-2002
障害者の生活支援	金沢区障害者センター	211-7720	211-6877
	金沢区障害者センター	640-4343	640-4346
	金沢区障害者センター	222-8628	643-6171
	金沢区障害者センター	314-9500	317-2046
	金沢区障害者センター	201-2088	201-0116
	金沢区障害者センター	788-2114	788-2143
	金沢区障害者センター	374-3461	374-3469
	金沢区障害者センター	786-7849	786-8872
	金沢区障害者センター		
	金沢区障害者センター		



- 区成年後見サポートネット専門職会議の開催
(計2回実施:5月・7月・9月<中止>・2月<中止>)
- 区成年後見サポートネット全体会の開催(計1回実施:7月・9月<中止>)
- あんしんセンター利用者等への対応にかかる関係者・専門職との連携、協力要請(随時)
- 成年後見サポートネット連絡会への参加(6月・1月)

④障害者後見的支援制度等との連携

区役所、障害者後見的支援室等との定期的な連絡会等を通じ、障がいのある人の身近な見守り機能の充実に向けた取組について連携を進めました。

- 個別相談への対応(随時)

(7)生活福祉資金貸付事業

低所得世帯や障がい者世帯、生活困窮世帯等へ資金を貸し付け、継続的な相談や償還支援を行いました。また、区役所で実施する生活困窮者自立支援制度の窓口とも連携を図りました。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減収や失業した世帯を対象に特例の緊急小口資金と総合支援資金の貸付を行いました。

種 別	相談対応件数	貸付決定件数
総合支援資金貸付	延べ 4,396 件	0 件
臨時特例つなぎ資金貸付		0 件
緊急小口資金貸付		2 件
福祉資金(教育支援資金貸付含)		19 件
不動産担保型生活資金貸付 (要保護世帯向含)		0 件

特例＞ 申請数
 緊急小口資金 384 件
 総合支援資金 375 件
 〃 (延長) 139 件
 ～令和3年 6月
 〃 (再貸付) 257 件
 ～令和3年12月

(8)たすけあい福祉基金

火災、風水害等による区内被災世帯への見舞金 1 件 5,000 円

(9)食の支援

- 経済的理由から緊急に食品が必要な人が安定した自立生活に戻るための一助として、食料支援団体(セカンドハーベスト・ジャパン、フードバンクかながわ)との協働による食料支援を行いました。
 - ・支援件数：延べ 25 件 (相談のみ含)
- 横浜市立大学が主催する横浜市立大学生向け食支援を、食品の寄付者とのコーディネート等を通じて支援しました。
- つながりのできた企業から、主に子ども食堂・地域食堂や下記ひとり親世帯向け食支援へ寄付をいただき、必要としている方へお渡しすることができました。フードロスになってしまう食品を活用することができました。
- コロナ禍の影響を踏まえ、ひとり親世帯向け食料支援を 1 回実施しました。

【ひとり親世帯向け食料支援】(金沢区民生委員児童委員協議会との共催)

区民児協の呼びかけにより、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている可能性の高いひとり親世帯に対し、令和 2 年度に引き続き食料支援を実施しました。

- ・実施日時 : 令和 3 年 11 月 21 日 (日) 11 時～14 時
- ・実施場所 : 金沢区役所 1 階
- ・申込世帯数 : 113 世帯 (申込受付枠は 120 世帯)
- ・配布数 : 100 世帯





(10)災害時におけるボランティア活動の推進

【重点項目8】

①災害ボランティアセンター設置準備の推進

区、区社協、災害ボランティアネットワークの三者で締結した「災害ボランティアセンター設置・運営に係る協定」に基づくセンターの設置準備とともに、区社協業務継続計画(BCP)に基づく災害時の職員配置や体制整備を進めました。また、発災時に災害ボランティアセンターでコーディネートできる人材育成の後方支援を行いました。

○災害時業務継続計画(BCP)に基づく訓練 等

- ・常勤職員安否確認フォーム登録訓練(7/7)
- ・災害ボランティアセンター開設訓練の実施(1/22)
- ・災害ボランティアセンター開設時の備品、消耗品備蓄
- ・常勤・非常勤職員参集状況の確認 等

○市災害ボランティアセンターと無線を通じた訓練の実施

②災害ボランティアネットワークの推進

定例会開催のほか災害対応訓練、また、市災害ボランティア支援センターとの連携をすすめました。

○【リモート】総会(1回)

○てんでんこプログラム「第3回てんでんこ競争」(1/9)

○金沢区災害ボランティアセンター開設訓練の実施(1/22)

(11)金沢区移動情報センターの運営

①移動に関する相談調整

障がいのある方やそのご家族等からの移動に関する相談を受け、外出の目的や行先などニーズに沿った情報の提供を行いました。また、ガイドボランティア事務取扱団体として横浜市障害者ガイドボランティア事業の積極的な運営を行いました。

○相談窓口 相談件数:123件

〈対象者の障害種別〉

身体障害	知的障害	精神障害	複数障害	難病	その他	不明
31件 (視覚6件)	42件	16件	2件	1件	31件	0件

〈相談内容〉

通院	通学・通所	余暇	制度説明	その他
21件	57件	23件	11件	11件

②移動情報センター事業の周知

○移動情報センター通信の発行

移動情報センター通信を年2回発行しました。(第9号8月・第10号3月)各関係機関に配布し、移動情報センター事業の周知に努めました。

号数	時期・部数 配布先	特集記事の内容
第9号	8月発行 1,500部 ボランティア関係機関配布	・発達に不安を抱える保護者の方に知ってもらいたい ・ガイドボランティア募集
第10号	3月発行 1,500部 ボランティア関係機関配布	・車椅子操作講座の報告 ・ガイドボランティア活動紹介



③移動情報センター推進会議の開催(年3回:6/9、10/26、2/25(書面開催))

移動情報センター運営にかかる推進会議を年3回開催(内1回は書面開催)し、関係機関との情報共有を図りました。推進委員のメンバーと移動情報センターの実績報告や事例紹介、各種講座の報告を行い、今後の移動情報センターの運営をよりよくしていくために検討を重ねました。

④ガイドボランティア事務取扱

ガイドボランティア事務取扱団体として横浜市ガイドボランティア事業の積極的な運営を行いました。

- ボランティア登録者数:67名(前年度70名)
- 支援対象者登録者数:49名(同 44名)
- 活動実績:1619件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計
活動回数	134	124	160	113	48	120	182	166	153	127	141	151	1619
活動者数	34	37	44	33	16	42	47	45	45	48	49	46	486

障害別活動回数

視覚	3	4	11	8	8	11	9	11	14	13	8	9	109
肢体	56	59	69	55	27	59	83	80	74	48	46	50	706

知的	48	51	56	42	12	41	80	65	57	61	71	77	661
精神	27	10	24	8	1	9	10	10	8	5	16	15	143
難病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

種別活動回数

A. 通学	101	90	102	60	6	69	126	116	96	79	101	106	1052
B. 通所	18	24	38	40	22	28	32	11	13	24	20	23	293
C. 一般	15	10	19	12	20	23	24	36	41	22	18	22	262
D. 余暇	0	0	1	1	0	0	0	3	3	2	2	0	12

⑤ガイドボランティア交流会の開催(再掲)

(12)送迎サービス事業の実施

横浜市外出支援サービス[市委託事業]として、外出に困難を伴う区内在住の高齢者や難病患者、障がい者に対して、通院・福祉施設の利用・行政機関への手続き・社会参加等の際に市内タクシー業者との協働による送迎サービスを実施しました。

なお、区社協独自事業としての送迎サービスは保有車両が軽自動車1台で十分なコロナウイルス感染防止対策が講じられないため実施を休止しました。

○横浜市外出支援サービス[市委託事業]の実施

- ・活動件数(延べ):16件
- ・総走行距離数 :114キロ
- ・利用登録会員数:150名

3 相談機能の充実と支えあいネットワークの構築

(1)子育て中の養育者の支援

健やか子育て連絡会の事務局として参画し、子育て中の養育者の支援に携わる主任児童委員等を中心とした方々同士のネットワーク構築に努めました。

令和3年度は地域福祉保健計画に合わせ、第4期子育て支援の協働の指針が策定されました。

○健やか子育て連絡会

- ・全体会 2回(7/7、12/6)
- ・事前会議 3回(5・10・2月)
- ・事務局会議 6回(4・5・7・12・1・3月)
- ・子育て研修会 1回(2月) ※まん延防止等重点措置のために延期
- ・地区別健やか子育て交流会および地区資源見て学ぶツアーはコロナ禍の状況を踏まえ自粛しました

(2)障害福祉施設連絡会等への参加及び支援

各施設運営委員会、区障害者地域自立支援協議会、施設間の連絡会等への参加を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により開催見送り等が相次ぎました。

○障害者地域活動ホーム、地域活動支援センター、グループホーム等運営協議会への参

加(通年)

- 金沢区障害者地域自立支援協議会への参加
- 金沢区中途障害者連絡会への参加
- 金沢区障害者地域作業所連絡会への参加

○重点テーマⅡ みんなで健康づくりに取り組みいきいきとしたまちへ

推進目標2

みんなで取り組む楽しい活動をとoshた健康づくり

1 情報発信・啓発

(1)「金沢区ミニ福祉保健のつどい」の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった令和2年度金沢区福祉保健のつどいをうけ、ミニ福祉保健のつどいとして、下記の通り開催しました。

日 程: 令和3年9月7日(火)

場 所: 金沢公会堂 多目的室

当日参加者: 各地区より31名、事例発表者3名、地域ケアプラザより2名

内容

- ・地区事例発表
「週1回、町内会館が『児童館』に！」紹介者: スペース谷津坂(金沢東部地区)
「ほっと一息、みんながつながる居場所作り」紹介者: 道くさC.C.(六浦西地区)
- ・第4期地域福祉保健計画 素案発表および意見募集

(2)「令和3年度金沢区福祉保健のつどい」の開催

下記の内容で予定していましたが、まん延防止等重点措置の延長をうけ、中止となりました。なお、第47回 金沢区社会福祉功労者表彰及び感謝式典に代え、表彰状の送付としました。

- ・社会福祉功労者表彰: 個人21名、団体0件
- ・社会福祉功労者感謝(5年以上寄付者・30万円以上寄付者): 該当者なし

(3)「いきいきセンターまつり」の開催

新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、令和3年度は開催中止としました。

2 活動の機会等の促進

(1)各種ボランティア講座の開催・組織化支援

必要とされているボランティア活動の組織・育成を目的に、地域ケアプラザや区民活動センター等と情報交換を行い、ボランティア講座の開催について支援を行いました。また、地域にある地区ボランティアセンターにおいてボランティア活動についてお話するなどして、支援を行いました。

○重点テーマⅢ 『得意』や『経験』をいかしてわたしもあなたも地域も元気に

推進目標3

誰もが活躍できる場やきっかけを通じたいきいきと暮らせる地域づくり

1 啓発・きっかけづくり

(1)区ボランティアセンターの機能充実(再掲)

- ①ボランティアに関する相談・コーディネート・情報提供等の充実
- ②必要とされているボランティア活動の開発・組織化

③ボランティア・市民活動分科会と連携したボランティアニーズへの対応

(2)障がい児者の社会参加の促進

①視覚障がい者等情報提供事業

視覚障がい者向け録音物等特定録音物等郵便物の発受施設として指定を受け、視覚障がい者等情報提供事業として、情報サービスの提供を行いました。

○声の雑誌ひまわりの送付

- ・令和3年 5月 192号 提供者:24名
- ・令和3年 7月 193号 提供者:24名
- ・令和3年 10月 194号 提供者:24名
- ・令和3年 12月 195号 提供者:23名
- ・令和4年 1月 196号 提供者:22名
- ・令和4年 3月 197号 提供者:22名

○福祉かなざわの送付

- ・令和3年 7月 116号 提供者:19名
- ・令和3年 12月 117号 提供者:19名
- ・令和4年 3月 118号 提供者:18名

②区障害者地域自立支援協議会への支援

○金沢区障害者地域自立支援協議会への協力

- ・啓発部会・防災ワーキングに出席しました。
- ・区社協ふれあい交流事業の一環として啓発部会に出席し、出前講座に関する意見交換や、障害者週間で作品の上映会を実施しました。

(3)情報紙等の充実

①ホームページを活用した情報提供(再掲)

②「福祉かなざわ」・「かなざわボランティアセンター通信」の発行(再掲)

③SNSを活用した情報発信(再掲)

2 活動の場をコーディネート

(1)ボランティアに関する情報発信

横浜市ボランティアセンターが運営する「ボランティア情報配信サービス」への登録を積極的に働きかけ、ニーズ情報を発信しました。

○区内のボランティアニーズ、ボランティア講座情報を配信

(2)ボランティア活動の活性化

ボランティア情報を積極的に提供して、現在活動していない人を活動につなげるきっかけとして初心者向けミニ講座等を開催し、区内のニーズに沿った活動者を育成しました。

(3)大学との連携

区内にある横浜市立大学と関東学院大学の2大学との連携を強化し、情報交換や交流、共催事業等を通じて新たな人材の発掘、育成を目的に「ボランティア実践講座」を行いました。

	日程	場所	参加	主な内容
STEP 1	6月15日(火) 18:00～19:40	Zoom	25名	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアについて ・活動者の経験談 ・グループワーク
STEP 2	7月8日(木) ～9月25日(土)	区内地域 ケアプラザ	延べ17名	区内地域ケアプラザでの体験実習

(4)「地域づくり塾かなざわ」の開催

住民による「たすけあい」の地域社会実現に向け、次世代の地域活動の核となる人材の育成を目的に、平成28年度より金沢区役所と協働開催してきました。コロナ禍であることから、新規募集ではなく、卒業生を対象とした「フォローアップ研修会」を開催しました。

日程	会場	参加者	主な内容
10月11日(月) 13:30～15:30	区役所	15名	同窓会～修了生フォローアップ研修会～ 【講師】金井 敏 氏 (高崎健康福祉大学 健康福祉学部社会福祉学科 教授) 【ポスターセッション】 <ul style="list-style-type: none"> ・レコード鑑賞会 ・金沢区にプレイパークをつくろう会 ・釜利谷おたすけ隊



3 活動への支援

(1)福祉保健活動拠点運営と利用団体の交流の場づくり (再掲)